

「水桜会だより」 2016 春号

水泳部創部 80 周年記念事業、着々と。

昨年 4 月の総会で、水泳部創部と目白プール(現在の大学プール)設立 80 周年の事業として、水桜会組織の見直しの基本的な了解をいただきました。

以後、金澤副会長を中心に、次代の水桜会活動の柱となるべく人材による検討委員会を設立し、水桜会の中に、大学部会、男子部部会、女子部部会の設立とその目的の確認、それぞれの事業の検討を始めました。

大学部会長は永田有平(52 大卒)、男子部会長は青木成夫(49 高卒)、女子部会長は渡辺マリ(48 高卒)とし、その部員はその都度、実施すべき内容に合わせて部長が召集し、具体化いたします。現役支援を行いながら、それぞれの OBOG の懇親を深めていきたいと思っております。

現在の案として、大学部会は水球競泳の試合応援。男子部部会と女子部部会は附属戦応援。また、女子部総合体育館建設資金として、寄附金 30 万円の申し出をいたします。

今秋には、80 周年記念パーティーを開催いたしたく、考えております。

五部対抗水泳大会を開催しました

昨年 8 月 30 日(日)大学プールで、恒例の「五部対抗水泳大会」を開催。OBOG、大学水球チーム、競泳チーム、男子部、女子部の選抜チームが参加し、競泳リレーや親睦水球試合を楽しみました。

200m リレーや 200m メドレーの他に、昨年から新種目になった 50m30 秒ジャストレースが、盛り上がりました。女子部の桑島さんが、28 秒 28 で 1 位。2 位は水球の栖原、3 位は女子部の小林さん。5 位に女子部の富田さんと、女子部勢の活躍が目立ちました。

水球は、男子高等科が大学水球に 3 対 4 の接戦をし、また OB と大学水球は、7 対 10 の 30 分間の死闘が見られるなど、和気あいあいの中に、真剣な勝負も見られました。

プールサイドに、懇親コーナーを設け、お弁当や軽食を用意しました。天候にはあまり恵まれませんでしたが、笑顔いっぱいの日でした。

※本年は、9 月初旬ごろに、開催を予定しております。

大学水球チーム

本年も冬期の練習は、男子中・高等科プールを使わせて頂いての泳力練習および他校(東工大等)への遠征を行っております。特に男子高等科の森本先生には大学水泳部の活動にご協力頂き感謝しております。

さて、例年 2 月から 3 月にかけて開催されていた東日本リーグが今年は中止となり、新たに日本水球リーグ(Japan Waterpolo League)が発足しました。昨年より大幅に大会への参加費が増えましたが、水桜会の皆様のご支援のお陰で参加に至る事が出来ました。有難うございます。

日本水球リーグは例年までの東日本リーグとは異なり、2月から8月の半年間に渡り行われます。したがって、3月から大学プールで練習できることを踏まえれば、例年よりも練習の成果を発揮できる場が増えます。ぜひ皆様応援よろしく願いいたします。

最後に、前回の水桜会便りで4年の花島惇が関東学生水球リーグで退水誘発王（26退水誘発）として表彰されたとお伝えしましたが、この度、桜友会と父母会の課外活動優秀賞に選ばれました。高等科3年、大学1年、2年時は競泳の活躍で、そして今回は水球で、これまで計4回表彰を受けました。本人にとって目出たい事はもちろん、チームとしても誇るべきことだと思います。今後も花島に続くような選手が出る事を期待しています。

大学競泳チーム

競泳部門は8月に開催される関東インカレに向けて日々のトレーニングに励んでいます。昨年12月のウインターカップでは、男子11名女子7名のプレーヤーが関東インカレ標準記録を突破しています。また9月のインカレに男子2名が出場予定です。

また暮れには、第2回高等科・大学競泳合同記録会が無事に開催されました。高等科生の真剣な泳ぎが大学生を脅かしていました。

冬場の練習は、男子が男子中・高等科プール、女子は女子中・高等科プールでの泳ぎこみをしています。プールの利用にあたり森本先生と山本先生にご協力をいただいております。まことにありがとうございます。

2月5日～9日に長野県アクアウイングのプールで合宿を行いました。この会場は長野オリンピック・パラリンピックでのアイスホッケーが行われました。長水路で連日のテーマに合わせての練習です。例えば乳酸除去能力強化、耐乳酸、折れない心など様々です。宿泊地は須坂温泉です。身体の疲れは温泉が癒してくれたことでしょう。また今回は橋場先輩（昭47大卒）が激励に駆けつけて下さいました。

3月に冬季公認大会が相模原グリーンプールであります。引退した4年生には、学生としてのラストレースですね。4月には新歓で新入部員が楽しみです。5月は春季公認大会、6月は夏季公認大会が予定されています。

OBOG 皆様の応援・支援のほどよろしく願いいたします。

大学競泳部門コーチ清水学（昭61年大卒）

男子部水泳部

中等科水泳部は今年部員数が50名を超え、夏合宿は例年の静岡県河津の宿には入りきらなくなり、修善寺に宿替えしました。50mプールで充実した練習を行うことができました。

8月29日の中学附属戦は119対74で圧勝。優勝杯・継泳杯・混継泳杯すべてのカップを獲得致しました。

9月12日・13日の東京都学年別水泳大会では、忍足徳謙（中1）が100m平泳1:20.46で第4位、100m背泳では松平齊喜（中1）が1:08.53で第5位、佐藤世成（中2）が1:08.76で第8位に入りました。佐藤世成は10月25日の豊島区民水泳大会では50m背泳の大会新記録30.54を出し、第2位となっております。

高等科水泳部は平井陸主将のもと、これまで以上に練習に励み、公認大会で自己ベストを次々

と更新しております。

2月6日・7日には400m混継泳で4:06.14（影山・平井・渡辺・松平）と高校附属戦の大会記録4:10.02を4秒近く上回り、第三泳者の渡辺大起（2）は100mバタフライにおいて58.51と、平成23年附属戦での花島惇さんの大会記録58.93を更新することが出来ました。現在、附属戦の大会記録は400mメドレーリレーを除き、全てが学習院の記録となります。来年の附属戦は三冠達成に加え、大会記録をどれだけ更新できるかも見どころになると思います。OBの皆様には来る6月4日（土）、目白の中高プールに是非お越しいただきご声援お願いいたします。

今後とも変わらぬご支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。（コーチ 中内 弘）

女子部水泳部

8/7～11まで校内合宿が行われました。多くのOG、コーチの方々にご支援頂き夏合宿の運用も安定し、体力、精神両面での成長が感じられました。以下、8、9月の主な試合のご報告を致します。

〈高等科〉

8/15, 16の十六高校対抗は、今年は日程が早まり合宿明け間も無くの開催でしたが好記録も多く見られ、参加29校中9位と好成績を収めました。各高校のOB, OG, 先生方が運営を担うこの大会、来年度は今年総務を務めた大2の板倉さんが運営委員長を、山本先生が役員長を務めます。運営側へのご支援もお願い申し上げます。

9/19, 20の新人戦では二年五十川が100Buで4位入賞を果たしました。

〈中等科〉

合宿の成果が現れ、8/23の新宿区民大会優勝、また、8/29の附属戦は昨年の雪辱を果たし113対86で勝利(Frルー、総合杯を奪還)しました。9/12, 13の学年別は辰巳初出場の一年生も多く、良い緊張感の中、長水ベストも見られました。大会後には新三役が発表され、部長 前野友理、副部長 濱田真由美、マネージャー 齊田朱里の新体制へ移行しております。

前号の水桜会だよりで8/12の関東大会出場をご報告しました三年関口舞花は、100Baで見事優勝。タイムも全国大会出場標準記録を突破。全中出場は叶いませんでしたがここでも夏の練習の成果が見られました。

女子部中等科・高等科 総合体育館建設計画

水桜会情報は、桜友会HPにも掲載されております。

桜友会事務局のご配慮で、「水桜会だより」「大学現役レポート」と「総会議事録」が掲載されております。桜友会HP⇒(左下の) 輔仁会OBOG会⇒運動部⇒水桜会で、開けます。

また、桜友会では、「メールマガジンご購読のご案内」をいたしております。桜友会の最新情報をご購読できますので、どうぞ、HP内からお申込みください。

水泳部創部当時に活躍された黒田長榮様の訃報に接して。

2010年9月26日（日）水泳部創部75周年記念パーティーが、学習院創部100周年記念会館で行われ、黒田先輩に、創部当時の思い出話をしていただいた。この機会に、水桜会会員の皆さまに、抜粋ですが、ご紹介いたしたい。

『大正12年生まれ。秋月黒田藩「第十四代城主」。現在の大学プールが完成した翌年、昭和11

年に中等科に入学、水泳部の前身、遊泳部に入部、以来、昭和 18 年 9 月に旧制高校を卒業するまで、水泳部生活を謳歌された。

プールは、学生たちの勤労奉仕で、昭和 10 年 7 月に完成したが、まだ、プールサイドの整備もあり、天秤棒で担ぎ、土を運んだそうです。

今日、プールで、五部対抗水泳大会を見てきましたが、当時から始まった院内大会を思い出しました。当時は、競泳を中心に、小堀流の式泳、ゴムマリやスプーン競泳、水球に似た遊戯が行われました。

背が高く、体が大きく手が長いから、早くゴールに着くだろうと背泳ぎが専門。背丈より手が長く 1.8m、手も大きいので、水球はセンターフォワード[®]をやりました。

競泳は、コーチも不在で、水連の松沢先生に教わりました。平泳ぎは、今のようになかなく、小堀流の流れでしたので、スピードが出ません。100m 背泳ぎは、最初は 1 分 40 秒で、今の女子よりも遅いし、旧制高校卒業頃にやっと 1 分 23 秒になりました。

当時はアカフンでしたが、水球の時は捕まると泳げなくなり不利なので、パンツに変わりました。プールは、今もあまり良い設備ではないですが、当時も良くはなかったし、戦争にもなってきた、水も替えていないので、下のラインが見えず、青草がいっぱいあり、毎日、眼医者に行きましたが、結膜炎にもなりました。

卒業後、海軍に入隊され、横浜本牧沖の機雷除去作業をした時、だれも到達できなかったのですが、肺活量 6000 以上を生かして、見事に除去できたそうです。

昭和 23 年、日本人パスポート 130 人目で、米国に行きました。ボストン郊外のプールで、オリンピック選手のジム・マックレーと一緒に泳ぎました。女性のいない時は、パンツなしのフルチンで泳いだり、日本古式泳法を見せて喜ばれたりしました。

学習院で、水泳を覚え、随分水泳のお蔭で、楽しい人生を過ごしております。

ただ、やはり気になることは、我々が作ったプールがいつまでも利用できることは、嬉しいことですが、おそらく、現在、都内の大学で、一番汚い情けないプールとなっていると思います。初等科のプールが一番綺麗で、立派だと思います。そんなプールが、近いうちで、建設されればと、つくづく思います。』

そのようなお話しを伺ったことが、昨日のことのようです。今後、創部当時のことを伝え聞くことが少なくなると思いますので、この紙面で紹介させていただきました。

併せて、黒田様は、学校行事において、機会あるごとに、「大学プール建設」を訴えていただきました。長い間、水泳部を応援していただき、誠に、ありがとうございました。

(昭和 44 年大学卒業 作山正宏)

追 伸

昭和 24 年旧高卒の小島宣夫様が急逝されました。夏号にて追悼文を掲載いたします。

以 上